

平成28年度

がん検診50%推進全国大会

本日 平成28年7月8日(金) 12:00~14:00

横浜クイーンズスクエア・クイーンズサークル

東京大学医学部附属病院
放射線科准教授

中川 恵一 先生

東京大学医学部附属病院放射線科准教授。厚生労働省の「がん対策推進協議会」委員、「がん対策推進企業アクション」アドバイザーボード議長。「がんのひみつ」(朝日出版社)などのがんに関する著作多数、現在毎週日曜日、日経新聞朝刊で「がん社会を診る」連載中。



東京都小金井市出身

生稲 晃子 さん

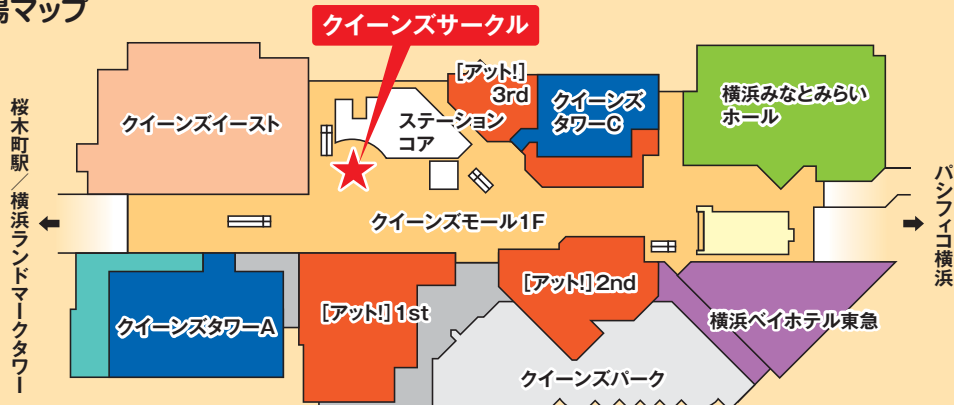
1986年、おニャン子クラブのオーディションに合格しデビュー。43歳の誕生日に乳がんを告知される。乳房温存手術を受け、放射線照射と薬による治療を続ける。2012年に再発。再手術や切除手術の後、右胸を全摘手術。2015年に右乳房の再建手術を受け、同年11月に自らのがんを公表。



プログラム

12:00~	主催者ご挨拶	厚生労働省健康局 がん・疾病対策課
12:05~	神奈川県 がん対策の取り組み	神奈川県保健福祉局 保健医療部 がん・疾病対策課
12:15~	トークセッション① 中川恵一先生 × 生稲晃子さん ~検診を受けていなければいまここにはいなかったかもしれない。~ 働く世代、子育て世代の女性のがん罹患率急増に関する状況や、がんは検診によって見つけることが可能になり早期発見で治る病気ということ、がん予防法やがん検診の有用性、必要な情報などを、「がん対策推進企業アクション」アドバイザーボード議長 中川恵一先生と5度の手術による乳房の全摘出と再建を行った生稲晃子さんの体験談等を交えて紹介します。	
12:45~	がんに関するミニ講座 中川恵一先生 2人に1人ががんになる時代。知っているようで知らないがんの基礎知識とがん検診の重要性を伝えます。	
13:30~	トークセッション② 中川恵一先生 × 生稲晃子さん ~がんで死なないためには何が必要か?~	

●会場マップ



- 主 催：厚生労働省、がん対策推進企業等連携事業(がん対策推進企業アクション)
- 後援(予定)：公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会、全国健康保険協会、健康保険組合連合会、全国社会保険労務士会連合会、日本対がん協会、神奈川県、横浜市